

受験番号				
フリガナ				
氏名				

平成24年度

国語 <問題用紙>

***** 注意事項 *****

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙は表紙を含め4枚から成り立っています。
また、解答用紙は別紙で1枚あります。
印刷が不鮮明、または枚数が足りない場合は手を挙げて、試験監督に知らせてください。
3. 受験番号と氏名を解答用紙とこの表紙の指定欄に記入しなさい。
4. 解答は指定の解答用紙に記入しなさい。

暁 星 国 際 中 学 校

一、次の文章は、森鷗外^{もりおうがい}の翻訳作品の一節である。「私」はある夏、デンマーク^{デンマーク}の避暑地^{ひしよち}で過ごしていたが、別荘^{べつそうち}地で下働き^{げさき}をしているエルリングという五十歳位の男を知り、何故か^{なぜ}気になり訪ねて行った場面である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

エルリングは椅子^{いす}を出して私を掛けさせた。私はちよいと横目で、書棚^{しよな}にある書物の背革を見た。グランドイグ、キルケゴール、ビョーメ、シレジウス、それからゲーテのファウストなどがある。後の三つの書物は、背革の文字で見ると、ドイツの原書である。書物の選択^{せんたく}から推して見ると、この男は宗教哲学^{てうがく}のようなものを研究しているらしい。家具は、部屋の隅^{すみ}に暖炉^{だんろ}が一つ据えてあつて、その側に寝台^{しんだい}があるばかりである。

「心持ちの良さそうな住まいだね。」 ① 「冬になってからは、誰が煮炊き^{にた}をするのだね。」 ② 「この土地の冬が好きだと言ったつけね。」 ③ 「冬の間に誰か尋ねて来るかね。」 ④ 「エルリングが指さす方を見ると、祭服を着けた司祭^{しやうさい}の肖像^{しやうざう}が机の上に懸かっている。「あれが友達です。ホールンベルクと言う隣村^{となりむら}の牧師^{まきし}です。やはり私と同じように無妻で暮らしています。それから余り付合^{あひあひ}いしないことも同様です。」 「冬になったら、ここは早く暗くなるだろうね。」 ⑤ 「早く寝るかね。」 ⑥

こんな問答をしているうちに、エルリングは時計を見上げた。「御免なさい。丁度夜中です。私はこれから海水浴をやるのです。」私は主人と一緒^{いっしょ}に立ち上がった。そして出口の方へ行こうとして、ふと壁^{かべ}を見ると、今まで気が付かなかったが、あつさりした額縁^{がくぶち}にはめたものが今一つ懸けてあつた。それに荊^{いばら}の輪飾^{わがせ}りがしてある。薄暗いので念を入れて額縁の中をのぞくと、肖像や画^えではなくて、手紙か何かの書いたものである。私は足を止めて、決心して聞いてみた。「あれは何だね。」 ⑦ 「エルリングはこう言つて目を大きく睜^{みは}つて、落ち着いた気色で私を見た。

「誰の。」 ⑧ 「どういう文句かね。」 ⑨ 「緩やかな力の入った詞^{ことば}で、真面目な憂愁^{ゆうしゆう}を帯びた目を恐れ気もなく大きく睜^{みは}つて、私を見ながらこう言った。「その刑期^{けいき}を済ましたのかね。」 ⑩ 「そのお上^{かみ}さんになるはずの女はどうなったかね。」 エルリングは異様な手付きをして窓を指さした。その背後は海である。 ⑪ 「それは余程前のことかね。」 ⑫ 「エルリングは昂然^{こうぜん}として戸口を出て行くので、私も付いて出た。戸の外で私は握手^{あくしゅ}して覺えず、丁寧^{ていねい}に礼をした。

私は帰つて寝たが、夜通しエルリングの事を思っていた。その犯罪、その生涯^{しやうがい}の事を思つたのである。あの男はいつかこの僻遠^{へきえん}の境に来て、漁師をしたか農夫をしたか知らぬが、それから沈思^{ちんし}冥想^{めいさう}し、思想の上で何物をか求めて、一人でいると言うことを覚えたものと見える。A その苦痛が、そういう運命にあの男を陥^{おとし}れたのであろう。 a こうして、この別荘^{べつそう}の冬の王になつてゐる。

b 毎年春が来て、あの男の頭上の冠^{かんむり}を奪^{うば}うと、あの男は浅葱^{あさぎ}の前掛けをして、人の靴^{くつ}を磨くのである。夏の生活は短い。明るい色の衣装や、麦藁^{むぎわら}帽子や、笑い声や、噂話^{うわさばなし}は忽ち^{たちまち}の間に閃^{ひらめ}き去つて、夢の如くに消え失せる。秋の風が立つと、燕^{つばめ}や蝶^{ちょう}や散つた花や落ちた葉と一緒に、そんな生活は吹きまくられてしまう。 c 別荘の窓を、外から冬の闇^{やみ}がのぞく。人に見捨てられた家と、葉の落ちつくした木立のある広い庭とへ、沈黙^{ちんもく}が拔足^{ぬきあし}をして尋ねて来る。その時エルリングはまた昂然^{かうぜん}として頭を挙げて、あの小家^{せうか}の中の机に寄つてゐるのであろう。その肩^{かた}の上には鳥^{からす}が止まつている。この北国神話の中の神のような人物は、宇宙の問題に思いを潜^{ひそ}めている。それでも稀^{まれ}には、あの荊^{いばら}の輪飾^{わがせ}りの下の額に目を注ぐことがあるだろう。そしてこの世捨て人も遠い微かな夢のように、人世とか喜怒哀楽とか利害得失とか言うものを思い浮かべるだろう。

(語注) ※浅葱：うすい青色。

問一 本文中の空らん ① ⑫ には、「私」の言葉に対応するエルリングの言葉が入りますが、どのような言葉が入ると考えられますか。次のア～シの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア ええ。私の約束した女房を付回していた船乗りでした。
イ あの男だけです。
ウ ええ。
エ 私のです。
オ 私が自分でやります。
カ いいえ、随分長く起きています。
キ 大好きです。
ク 判決文です。
ケ さよう。もう三十年程になります。
コ 殺人犯で、懲役五十年です。
サ 行つてしまつたのです。移住したのです。行方不明です。
シ 三時半位です。

問二 本文中の空らん a c には、前後をつなぐ接続語が入りますが、どのような語が適切ですか。次のア～オの中から最も適切なものを選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア そして イ それで ウ すなわち エ あるいは オ しかし

問三 本文中に、エルリングを指すたとえの表現が三か所ありますが、それぞれについて、(1)三字・(2)四字・(3)十四字でぬき出して答えなさい。(句読点は字数にふくみません。)

問四 最後の段落には、擬人法の表現がいくつか見られます。その中で(1)十字・(2)十三字である表現を探し、その終わりの三字をそれぞれぬき出して答えなさい。(句読点は字数にふくみません。)

問五 ぼう線部A「その苦痛」とありますが、エルリングの「苦痛」の原因となったことは何ですか。その原因を二つ、それぞれ「…こと。」につながるように答えなさい。

問六 (1)ぼう線部B「宇宙の問題」とありますが、この文章中で同様の意味内容で用いられている表現を、十字で探し、その初めの二字と終わりの三字を答えなさい。

(2)また、対照的な意味内容の表現を、二十字で探し、その初めの二字と終わりの三字を答えなさい。(いずれも句読点は字数にふくみません。)

問七 この文章の題名は何が良いと思われますか。次のア～オの中から最も適切だと思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 判決文 イ 荊の輪飾り ウ 夏の生活 エ 北国神話 オ 冬の王

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

二〇一一年一月一日、A航空会社は世界に先駆け、アメリカの航空機メーカー、B航空機会社が製造する最新型旅客機787型を定期営業路線に就航させた。今後多くの航空会社で787型機が使われることは確実だが、少なくとも二〇一一年一月の時点で、787型機を使っているのは世界広しといえどもA航空会社だけなのだ。航空ファンならずとも最新型旅客機に寄せる人々の関心は高い。A航空会社はその人気の高さをあてこんでか、東海道・山陽新幹線との競合が激しい羽田・岡山線と羽田・広島線にまず投入した。④

ただし、本当はもっと前に就航していたはずだったのである。A航空会社は二〇〇四年、世界で最初に787型機を発注した。航空機メーカーに新型機の開発を決定させる注文主のことを、ローンチカスタマーと呼ぶ。ローンチカスタマーは新型機の仕様決定に対する大きな発言権を持つだけでなく、新型機を優先的に受け取り、営業上の先行利益を得る権利もにぎっている。A航空会社の計画では二〇〇八年夏に中国・北京で開かれたオリンピックに合わせて羽田・北京間に787型機

を運航し、大々的にお披露目をする計画だったのだが、残念ながら間に合わなかった。⑤

巨額の資金と最新の技術を盛り込んだ航空機の開発は、①計画通り進まないものだ。年

単位で遅れることも過去にはよくあった。計画が途中で暗礁に乗り上げ頓挫することだって、この業界では珍しいことではない。しかし、B航空機会社は業界トップとしての自負から、綿密な開発と生産の計画を立て、その確実な実行を注文主に約束した。A航空会社はそれを信じた。787

型機の前に開発した777型機は、順調に計画が進行し、期待通りの性能を示している。B航空機会社の言い分はあながち大言壮語とは受け取られなかったのである。事実、777型機はA航空会社の国内・国際両部門の主力機材、いわば稼ぎ頭になっている。②

787型機の計画は、②音速に近い速度で巡航する新しいタイプの旅客機を、B航空機

会社が航空会社に向けて提案したところから始まった。ソニック・クルーザーと名づけられたその計画では、日本とアメリカ西海岸を結ぶ路線で二時間程度の短縮ができるというのがうたい文句だった。しかし、二〇〇一年に発生したアメリカ同時多発テロ事件以降、航空需要は低迷し、②そのコストダウンが求められたことからこの開発計画は中止が決定。代わりに徹底的に輸送効率を追求した、とりわけ燃費の向上を売りにした新しい計画が提案されたのである。その結果具体化した787型機は、機体や主翼の材料を従来のアルミ合金からカーボンファイバーによる新素材に置きかえ、大幅な軽量化を達成した。新型エンジンの採用と合わせ、画期的な低燃費を実現したとされている。③

ところが、その新素材が開発の足を引っぱった。二〇〇七年七月八日、B航空機会社は製造第一号機を世界にデビューさせた。この日付を西洋風に表記すると7/8/7になるので、B航空機会社としては必死になって間に合わせたい。しかし、出来上がった機体は本当の完成には程遠い、一種のハリボテ状態だったという。試験飛行の準備すら整わない状態で、時間が過ぎていった。設計の見直しや不具合の解消のため、くり返し生産計画が見直され、初飛行したのは予定におくれること二年四ヶ月後の二〇〇九年暮れのこと。③飛んだかという印象だった。その後、試験

飛行中にもトラブルに見舞われ、そのつど④計画はおくれていった。結局量産第一号機がローンチカスタマーに納入されたのは、二〇一一年九月。当初計画では二〇〇八年五月納入予定

だったのだから、三年以上待たされたことになる。⑤

新型機というものは、初期故障に見舞われたり、取り扱いに不慣れなためのトラブルが相次いだりして、導入当初は 5 苦労がつきまとうもののようなのだ。あまり想像したくないが、未知の不具合から重大事故にいたった例も過去にはいくらかもある。これだけ時間をかけて仕上げてきた新型機なのだから、ぜひ着実な運航実績を積み重ねてほしいものだ。⑥

問一 空らん 1 5 のそれぞれにあてはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア じりじり イ なかなか ウ いろいろ エ そもそも オ とうとう

問二 各形式段落の末尾④～⑥には、次のア～カの各文のどれかがあてはまります。それぞれについて記号で答えなさい。

ア だからA航空会社は787型機に大きな期待を寄せたのである。
イ B航空機会社は787型にドリームライナー（夢の旅客機）というニックネームを付けているが、口の悪い業界人からデイレイライナー（おくれる旅客機）と呼ばれているのも無理はない。
ウ 低燃費のエコカーがブームになっている自家用車と同じセールスポイントだ。
エ もくろみは当たって、しばらくは各便満席の好況だそうだ。
オ A航空会社は大きなチャンスを失い、B航空機会社にとっても大きな痛手になった。安全なフライトを切に願う。

問三 ぼう線部Ⅰ「約束」について、A航空会社がB航空機会社の「約束」を信用したのはなぜですか。本文の内容をもとに説明しなさい。

問四 ぼう線部Ⅱ「いっそうのコストダウンが求められた」とあります。ア だが、イ だれに、求めたのですか。文中の言葉で答えなさい。

問五 ぼう線部Ⅲ「ローンチカスタマー」について、ア その意味を、本文からぬき出して答えなさい。イ ここでは具体的に何を指しているのかを答えなさい。ウ 「ローンチカスタマー」が保持する権利を、本文から二項目ぬき出して答えなさい。

三、次のぼう線部の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 誤った考え ② 興奮して暴れる ③ 気力を養う

- ④ 訳のわからない説明 ⑤ 体重を量る ⑥ 武者ぶるいする
⑦ 入梅の季節 ⑧ 都合が悪くて行けない ⑨ 毎月五の日に市が立つ
⑩ 頭上に注意 ⑪ 伝承文学を研究する ⑫ 連綿たる山脈
⑬ 畑に追肥をほどこす ⑭ 都に上る ⑮ 玄米を精米する

四、次のぼう線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① ヨコブエを吹く ② ジョウギで直線を引く ③ ジョウビ薬を点検する
④ ダイスウ学を学ぶ ⑤ 二点間の長さをハカる ⑥ 電気ケイトウの故障
⑦ 品物のザイコを確認する ⑧ 新人賞をモウける ⑨ ニンギョウで遊ぶ
⑩ リヤクゴについて調べる ⑪ たくらみをカンパする ⑫ マルい形をしたお皿
⑬ 諸国を修行するウンスイ ⑭ 罪をサバク ⑮ 政治をサンシンする

五、次の慣用表現①～⑤の空らんに、それぞれあてはまる体の部分を、漢字一字で答えなさい。

- ① いそがしくて□が離せない ② 心配で□が離せない
③ □を集めて相談する ④ □の皮一枚でつながる
⑤ □に紅葉を散らす

六、次の①～⑤の空らんに、それぞれあてはまる漢数字を答えなさい。

- ① □衣帯水 ② 三□世界 ③ □家争鳴 ④ □百十日 ⑤ 千□

[illegible]